

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	文化課長 島田 義正	
共生-29	文学館大規模修繕事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	2-(2) 文化	施策の方針	2-(2)-①文化活動の支援・促進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	老朽化が進む鎌倉文学館の大規模修繕を行い、施設・設備の機能を維持するため。
効果	来館者の安全を確保するとともに、歴史的な建築物を恒久的に保存を図る。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

・令和2年度から令和3年度までに実施した文学館の劣化調査診断の結果を踏まえ、大規模修繕事業に係る設計業務に着手した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	文学館大規模修繕事業	劣化調査診断 等	-	- / -	-	-	-
02				22,000 / 50,106	75,116		
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	/		15,700	
			その他特定財源	/			
			一般財源	22,000 / 50,106		59,416	
			事業費の合計(千円)	22,000 / 50,106		75,116	
			人件費(千円)		7,377	4,417	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	-	0.2	0.8	0		
会計年度任用職員	-	0.8	1.0	1		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	文学館大規模修繕事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	利用者の安全かつ快適な利用の実現のため。	-
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
協働			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
改修に係る基本設計が完了した後に、実施設計を行い、令和9年4月1日の再開館に向け、改修修繕事業を計画的に行う。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	施設各々の劣化状況を鑑み、施設の安全性、及び、施設利用者の利便性を担保する義務的な事業であるため、他市との比較による評価は馴染まないと考える。
--------------------------	---